

令和4年度



9月 園だより



文京区立根津幼稚園

『気づき、よく見て、よく聴いて』

園長 小岩井 聡

猛暑だったり、豪雨だったり「異常気象」と呼ばれた夏も少しずつ落ち着き、秋の訪れと共に、子どもたちの元気な声が幼稚園に戻ってきました。2学期のスタートです。

さて、今年も新型コロナウイルス感染拡大により、3年目の我慢の夏を過ごされた方も多いかと思います。でも、おうちの方と一緒に、ホッとした穏やかな時を過ごしたお子さんも少なくないのではないのでしょうか。そんなコロナ禍でよく言われているのが、「マスク越しだと表情が伝わらず、気持ちが分からない」「会話ができないからコミュニケーションが取りづらい」など気持ちを伝えるコミュニケーションが不足するということ。

しかし本当にそうでしょうか。先日も、電車の中で、ベビーカーの赤ちゃんが一生懸命こちらを見てくれていたので、マスクは外さず、でもにっこりと笑ってみました。（ただ、赤ちゃんからしてみると、目にゴミが入ったくらいにしか見えなかったかもしれません。）しかし、にっこりと笑い返してくれました。マスク越しの笑顔でも気持ちは伝わると感じました。「目は口ほどにものを言う」という諺もあるように、子どもたちはこちらの気持ちを、目からしっかりと受け止めてくれています。

また、園長室にいる私に、子どもたちが掛けてくれた短い言葉や笑顔からたくさんの力をもらい、勇気付けられたことか。「先生、大丈夫？」の一言が、どれほど元気の源になったことか。また、保護者や地域の皆様から「無理しないでくださいね。」「帰って来られてよかったよ。」という労りの一言を頂いた時のありがたさ。会話でなくとも、言葉の力を改めて感じました。ですから、夏休み明け、「おはよう！元気だった？」「〇〇ちゃん、一緒に遊ぼう」の何気ない一言が、2学期のスタートにドキドキして登園した子どもたちの気持ちを解す魔法のような一言になるように思います。

こんな時代だからこそ『相手に**気づき**、よく**見て**、よく**聴く**こと』が、コミュニケーションを深めるために大切だと感じます。

2学期も、子どもたちの安全確保に努めながら、保護者の皆様には子どもたちの育ちを感じていただけるように教育活動を進めて参ります。行事も可能な限り、保護者の皆様方、地域の皆様方のご理解とご協力をいただきながら実施したいと思っております。

教職員一同、一丸となって頑張りますので、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。